授業科目名・形態	人間の理解Ⅱ　　講義	必修・選択の別	選択	単位数	2
科目担当者氏名	藤田　博章	実務経験の有無	有	開講期	１年後期
科目ナンバリング	W3-1006cR				

【授業の主題】

介護は深い人間理解に基づいた信頼関係のうえに成り立つものである。本講は、対人援助に必要な人間の関係性を理解し、関係形成に必要なコミュニケーションの基礎的な知識について、講義と演習を通じて習得することを目的とする。人間の理解Ⅰの「人間の尊厳と自立」で学習したことを引き継ぎながら、人間関係を形成するために必要な心理学的支援を踏まえたコミュニケーションの意義や機能を実践面から学ぶ。

【到達目標】

1）関係作りのための人間について、人間の認知世界の違いから確認できる。
2）人間関係の形成について、人間の発達過程から確認できる。
3）人間関係を形成するために必要なコミュニケーションの意義と機能について、組織との関係から確認できる。

【授業計画・内容】

第 1 回　オリエンテーション
第 2 回　人間と人間関係①（人間らしさのはじまり、自分と他者の理解に向けて）
第 3 回　人間と人間関係②（自分と他者の理解）
第 4 回　人間と人間関係③（発達心理学からみた人間関係）
第 5 回　人間と人間関係④（人間関係とストレス）
第 6 回　対人関係におけるコミュニケーション①（コミュニケーションの概念と基本構造）
第 7 回　対人関係におけるコミュニケーション②（コミュニケーションの手段）
第 8 回　対人関係とコミュニケーション（対人援助の基本となる人間関係とコミュニケーション）
第 9 回　組織におけるコミュニケーション（組織の条件とコミュニケーションの特徴、組織における情報の流れ）
第 10 回　介護実践におけるチームマネジメントの意義
第 11 回　ケアを展開するためのチームマネジメント
第 12 回　人材育成・自己研鑽のためのチームマネジメント
第 13 回　組織の目標達成のチームマネジメント
第 14 回　人間の尊厳と自立
第 15 回　まとめ

【授業実施方法】

基本的には講義で行う。

【事前・事後学習】

講義内容に関する事前学習を毎回２時間以上行うこと。授業前に該当箇所を読んで、分からないことを明確にしておくこと。また、学習を通じて自己のコミュニケーションに関する苦手なことを認識していくこと。講義内容を踏まえ、復習を毎回２時間以上行うこと。

【主な関連する科目】

介護の基本Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、コミュニケーション技術Ⅰ・Ⅱ、社会福祉概論Ⅰ・Ⅱ、高齢者福祉論、障害者福祉論、日常生活支援技術演習Ⅰ、福祉経営論　など

【教科書等】

最新　介護福祉士養成講座１　人間の理解（第２版）、中央法規、2022.

【参考文献】

必要に応じて、授業の中で適宜提示する。

【成績評価方法】

授業の参加態度（主体的な授業参加度を重視する）10%、提出課題・レポート 10%、定期試験 80%で評価する。60%以上の得点を合格とする。

【実務経験及び実務を活かした授業内容】

地域包括支援センターや障害者就労支援施設、障害者グループホームでの支援の実践の経験からクライエントの人権や尊厳について理解し、「人間とは何か」「支援とは何か」を考察していきたい。

【学生へのメッセージ】

利用者との信頼関係構築のためにはどのような視点が必要かを良く考えながら予習・復習し、ソーシャルワークや介護実践のために必要となる人間の理解を深めてください。